

CSR基本方針

当社は、システム開発企業としての責任と誇りを持ち、「お客様の情報システムを起点とした業務プロセス全体の活性化にむけて、ITの視点からの確かなアドバイスとその遂行力」を社会に提供し、取引先、株主、社員の共存共栄を企業活動の原点とし、信頼関係を大切にしながら経営を基本方針としております。高く新しい目標にチャレンジする活力ある企業カルチャーを醸成し、企業と社員が共に法令等の遵守はもとより高いモラルに基づいた誠実かつ公正な企業活動を実践し、社会的責任を果たすことを宣言し、ここにCSR基本方針を定めます。

■ 健全で透明な経営

システム開発企業としての責任を認識し、公正かつ透明で健全な企業活動を行います。またすべてのステークホルダーに対して公正かつ誠実に行動し、積極的に企業情報を開示します。

■ 最適なサービス提供

企業力を結集し優れた技術力と品質により、常に最適をお客様に提供し、お客様満足の向上に努めます。

■ 人材育成

社員が常に将来をみすえ、高く新しい目標にチャレンジできる環境を提供します。また、成長と自己実現を果たせる機会と安全で働きやすい環境を提供し、一人ひとりのゆとりや豊かさを実現します。

■ 法令の遵守

高い企業モラルを堅持し、法令・社会規範およびその精神を遵守します。また、反社会的な勢力とは一切、関わりをもちません。

■ 公正取引

公正で自由な競争のもとに適正な取引を行います。

■ 環境保全

環境問題への配慮は人類共通の重要課題であることを認識し、自らの企業活動における省資源・省エネルギー化を推進するとともに、サービス提供を通して、お客様の経営の効率化・省エネルギー化を支援し、環境負荷の低減に貢献します。

■ 社会貢献

IT業界の企業にふさわしい企業市民として、積極的に社会貢献活動を行います。

■ 国際貢献

国際的な事業活動においては国際ルールや現地の法律の遵守はもとより、各国の文化・慣習を尊重し、経済・社会の発展に貢献します。

株式会社ヴァリュースシステム

代表取締役 森 茂仁

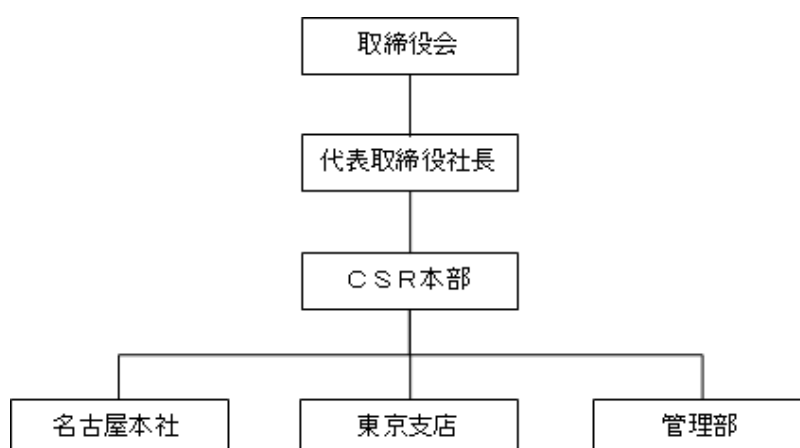
CSRマネジメント体制

当社は、多様なステークホルダーとのコミュニケーションを通じた社会・環境面での社会の期待を正しく理解し、それらを経営に反映させることをめざします。

- ・ 社会課題の解決に貢献するCSR・環境活動
- ・ 継続可能な経営を実現するガバナンス
- ・ ステークホルダーとの相互理解を促進するコミュニケーション

当社のCSRの方針や活動については、行動規範及び各規定を基に、CSR本部が各部署と連携し、定期的な会議を開催して方向性を共有しながら推進しています。ヴァリューシステムとして企業の責任を果たせるよう、社会課題を経営課題として取り入れるとともに、自分たちの社会的責任を果たしているかどうかを確認しつつ継続的に改善に努めています。

■ CSR体制図



内部通報制度

当社では、「セクハラ・パワハラ・人権・問題全般」を相談できる「相談窓口」を設置し社員が相談できるようにしています。相談窓口については、連絡先を明示して社員への浸透を図っています。

内部情報の提供を受けたときは、内部情報提供者のプライバシー保護・身分保障を図るとともに、厳正な調査を行い適正に対処しています。また、内部情報提供者は、内部情報を提供したことを理由として、会社から不利益な取り扱い（人事・処遇など）を受けることは一切なく、情報提供の対象とされた社員などは、受付窓口で情報を提供されたこと自体を理由として、会社から不利益な取り扱いを受けることは一切ない旨を、規定によって定めています。

環境・地域社会への取り組み

当社は創業以来、健全な社会発展に貢献することを経営理念とし、地球環境問題に取り組む姿勢を社会に示すとともに、地球温暖化防止や資源循環などの取り組みを進めています。

■ 環境・地域社会に対する基本方針

当社は、「持続可能な社会」の実現を目指し、環境課題の改善を進めると共に地域社会の人々から共感を得る環境取組を実施します。

- 環境課題への取り組み
 - ・ 社会活動を通じて、CO2の削減に取り組めます。
 - ・ 資源の循環型有効活用に取り組めます。
- 地域社会の共感を通じた取り組み
 - ・ 地域環境活動に取り組めます。
 - ・ 災害被災地へのボランティア又は寄付等を行います。

■ 環境行動計画

実施計画	実施内容
CO2削減	<ul style="list-style-type: none">■ 電力使用量の削減 年度内電力使用量を計測し、前年度の3%削減を目標とします。 実施内容 <ul style="list-style-type: none">・ エアコンの電力抑止 室温設定を冷房時 28℃、暖房時20℃とし、管理します。 上記温度でも快適に過ごせるライフスタイル 「クールビズ」(5/1~10/31) 「ウォームビズ」(11/1~3/31)の推進を行います。・ 照明の電力抑止 不要照明のこまめな消灯を行います。 <ul style="list-style-type: none">■ 紙資源の削減 社内システムの見直しを行うと共に、ペーパーレス化を実施します。
資源の再利用	資源の循環型有効活用に取り組む <ul style="list-style-type: none">■ ごみの分別 入居テナントの規約に従い、ごみの分別を行います。■ トナーのリサイクル 使用後のトナーは、各メーカーの回収サービスを利用しリサイクルを行います。
災害被災地	<ul style="list-style-type: none">■ 東日本大震災における当社の取り組み 被災された方々への支援及び被災地復興に役立てていただくため、お見舞金を拠出させていただきました。

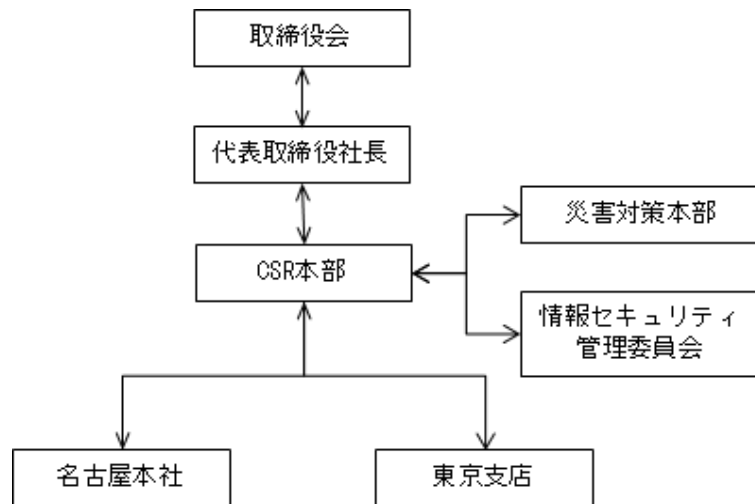
リスクマネジメント

事業活動に関わるあらゆるリスクを的確に把握し、リスクの発生頻度や経営への影響を低減していくため、週次会議及び月次役員会議での報告により、拠点毎での未然防止等に取り組んできました。

また、震災時においても災害対策本部を迅速に設置し、従業員の安否確認と情報提供を行いました。

今後も引き続き、内部の連携を加速し、リスクマネジメントの体制強化を図っていきます。

■ リスクマネジメント体制



■ 重点リスク項目の設定

当社では、主な重点リスク項目を定めて、検討・分析を行い、各種施策に反映しています。

また、リスク低減に関する施策を討議するとともに、有効性に対する評価などを行い、その結果は随時各部署へ周知しています。

重点リスク項目

分類	重点リスク
情報セキュリティ	情報漏えい、機密情報の持ち出し
プロジェクト	問題プロジェクト
災害	自然災害・パンデミック
リーガルリスク	法令違反